

2022年
8月号
vol.8

圧入 ジャーナル

Lineup

▶活動報告

- 2022年度会員総会を開催しました
- 2022・2023年度 理事・監事と会長・副会長が選任されました
- 第7回JPA表彰 受賞一覧

▶会員企業様紹介

- 株式会社崎山組
- 株式会社角藤
- 株式会社リンコーコーポレーション

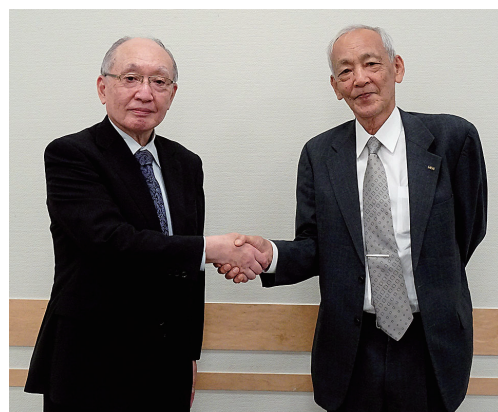
▶連載

- 栄えある第7回表彰をご紹介します
- オペレーター部門賞

▶業界ニュース ▶Information



2022年度会員総会の様子



森永新会長(左)と中岡前会長(右)

2022 年度会員総会を開催しました

2022年6月9日、東京都千代田区の手町サンケイプラザにて会員総会を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ハイブリッド型バーチャル総会で開催しました。23名の会員が来場し、126名の会員がオンラインで出席しました。

定時社員総会

「2021年度事業報告並びに決算報告承認の件」「2022年度事業計画並びに予算案承認の件」「2022・2023年度 理事・監事選任の件」「定款一部変更の件」の4議案の決議、また、事務局長交代の報告が行われました。定時社員総会の終結をもって、中岡智信会長が勇退され、その後の臨時理事会で、会長、副会長が選任されました。

第7回 JPA 表彰

本年度は52件の応募があり、「表彰委員会」の審査により、受賞された33件を発表しました。また、表彰委員会委員長 岡原美知夫様（(一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会 代表理事）の総評を事務局から紹介しました。

北村精男名誉会長ビデオ講演

「RED HILL 1967 の意義と活用」と題したビデオ講演で、当協会名誉会長である北村精男氏は、「現在、高知県香南市赤岡町に情報発信基地『RED HILL 1967』を建設中である、ぜひこの施設を圧入工法の普及拡大のために会員の皆さんに活用してほしい」と語りました。



講演する北村名誉会長



RED HILL 1967 イメージ

登録圧入工基幹技能者の創設について

当協会の副会長 企画委員長である(株)藤井組代表取締役 森 致光^{よしみつ}氏は、企画委員会を発足させてから今年4月に「圧入工」が登録基幹技能者講習として認証されるまでの経緯を説明し、登録圧入工基幹技能者の創設が「圧入技能者の地位向上」につながると述べました。



登録圧入工基幹技能者創設について説明する森副会長

登録圧入工基幹技能者の意義



【登録基幹技能者の種類】

全40種目が存在(2022年6月時点)

【登録圧入工基幹技能者の意義】

- ・「**圧入工のスペシャリスト**」として認定される
- ・圧入に関する技能者の**地位向上**、**待遇改善**につながる
- ・圧入技能者の目標像として**キャリアパスの見通し**を持つことができる(レベル判定システムの運用含む)
- ・技能者を雇用し、**育成する企業**として魅力が増す

圧入業界を支える**人材の確保**(活性化)、

「圧入工」の認知により、当業界の**社会的地位の向上**につながる

建設キャリアアップシステムについて

(一財)建設業振興基金 普及促進部長 川浪信吾氏に登壇いただき、技能者の資格、社会保険加入状況、現場就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組みである「建設キャリアアップシステム(CCUS)」について制度の概要とメリット等を説明いただきました。

事務局長の交代

中岡会長より、5月1日付で川辺 守が当協会の事務局長を退任し、那須雄彦が就任したことの報告がありました。

今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

2022・2023年度 理事・監事と会長・副会長が選任されました

2022・2023 年度 理事監事一覧

No.	氏名	会社名	選任	No.	氏名	会社名	選任	No.	氏名	会社名	選任
1	森永 教夫	一般社団法人全国圧入協会	新	9	勝野 宜由	株式会社角藤	再	17	藤田 学	ジオテック株式会社	再
2	樋口 佳行	土保産業株式会社	再	10	菅野 守雄	株式会社第一基礎	再	18	光常 正義	光洋重機建設株式会社	再
3	板倉 広明	株式会社出雲技研	再	11	小林 峰幸	有限会社瑞徳重機	再	19	宮崎 健治	宮崎基礎建設株式会社	再
4	上山 雅樹	株式会社ウエヤマ	再	12	竹原 弾	有限会社タケハラ工業	再	20	森 致光	株式会社藤井組	再
5	遠藤 剛	株式会社遠藤工業	新	13	中村 栄吉	共栄産業株式会社	再	21	横山 弘介	株式会社横山基礎工事	再
6	大上由美子	株式会社元栄組	再	14	西川 昭寛	株式会社技研施工	再	22	吉田 俊司	吉田重機建設株式会社	再
7	小澤 智久	株式会社小澤土木	再	15	埴生 健一	株式会社東洋商行	再	23	白崎 賢市	株式会社佐藤重機建設	新
8	梶川 光宏	株式会社梶川建設	再	16	比嘉 俊浩	株式会社丸浩重機工業	再				

2022・2023 年度 理事監事一覧

No.	氏名	会社名/役職名	選任	No.	氏名	会社名/役職名	選任
1	見波 潔	(一社)日本建設機械施工協会他	再	2	松永 弘子	株式会社崎山組	新

定時社員総会後の臨時理事会で、会長と副会長 4 名が選任されました。



森永教夫会長



樋口佳行副会長



藤田学副会長



森致光副会長



西川昭寛副会長

森永会長ご就任挨拶

このたび会長に就任しました森永教夫でございます。

40年を超える歴史ある全国圧入協会の会長に就任したことに責任の重さを感じております。これからは会長として協会の設立の目的である「圧入施工技術の向上と普及促進、圧入業界の健全な発展」に努めてまいります。

会員の皆様方に協会の活動へのご支援とご協力をお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。

中岡前会長ご退任挨拶

私が会長をお引き受けした時は「圧入工法」という言葉すら知りませんでした。専門工事業の団体で、しかも杭を打っておると。さぞや怖いところだと思ってびくびくしながら来ましたところ、会員の皆様は専門的な知識・技術を持っており専門家の集まりであって、お陰様で8年間楽しく過ごすことができました。この8年間は、ちょうど圧入工法が自然に世の中に広まっていた時期だったと思います。圧入工法には極めて優位性があり、他の工法ではできないところも施工可能で、安全で、短時間で、コンパクトに様々なことができるという上に、会員企業の皆さんが誠実に施工されて、発注者の信頼を得て、じわりじわりと実績を積み重ねていった。圧入工法をとりまく環境が伸びていった時代に当たるわけがあります。皆さんのおかげでここまで来たと思っております。ありがとうございます。



ご退任の挨拶をされる
中岡前会長

森永さんはとても立派な方です。また私同様お付き合いいただければと思います。長い間お世話になりました。

第7回JPA表彰 受賞一覧

圧入技術表彰

【現場部門賞】

会員企業名	案件名
(株)藤井組	湯浅御坊道路 川辺工事
(株)出雲技研	令和2年度米子道路福市地区改良他工事
(株)技研施工	出光興産(株)高松油槽所 側方流動対策工事
(株)佐藤重機建設	高速1号羽田線(東品川栈橋・鮫洲埋立部)更新工事
(株)佐藤重機建設	ため池等整備事業(用排水)八ノ江地区 護岸工事

【オペレーター部門賞】

会員企業名	案件名
(株)技研施工	森下 武司

映像表彰

【写真部門賞】

会員企業名	タイトル	会員企業名	タイトル
(株)SR基工	安全・確実・準則厳守	(株)角藤	都市交通維持と防災・減災に挑む!
(株)SR基工	崩壊を防げ	(株)角藤	圧入技術を集結し、安心・安全を護る
土保産業(株)	僕らはこの仕事が好き!	(株)梶川建設	生まれ変わる力強い土台
共栄産業(株)	水との闘い	(株)梶川建設	こんな狭い場所でも
(株)松原興業	空に羽ばたく道になれ!!	(株)梶川建設	富田林事務所初ジャイロプレス工法
宮崎基礎建設(株)	鋼矢板は続くよどこまでも	(株)梶川建設	生まれ変わる力強い土台
(株)藤井組	富士山を横目に	(株)梶川建設	ヤタガラスの視点
(株)藤井組	淀川にそびえ立つ鋼矢板	(株)梶川建設	河川完全攻略
(株)藤井組	密な打合、計画で広がる可能性	(株)梶川建設	都市河川の強い味方
(株)技研施工	～安全かつ快適な暮らしへ～	吉田重機建設(株)	円形締切に不可能無し
(株)大興鋼業	頑固な地盤でも慌てず、汚さず!一歩ずつ!	(株)佐藤重機建設	1433本施工完了!永遠に支える基礎であれ!
(株)角藤	お静かに・・・(在宅ワーク中です)	(株)佐藤重機建設	疾走!Maxときを止めない!社会インフラ整備中!!

【動画部門賞】

会員企業名	タイトル
石橋建設興業(株)	若手技能者、技術者を中心とした鋼矢板圧入工法の社内勉強会
(株)出雲技研	防災行進曲
(株)技研施工	国道219号再生!三大急流球磨川に挑む!



授賞式 in 土保産業(株)



授賞式 in 石橋建設興業(株)



授賞式 in (株)技研施工

今年も圧入工法技術講習会を開催しました

中国地区 5 県の行政・建設会社・土木設計コンサルタント職員を対象

近年、全国的に自然災害が頻発しており、迅速な災害復旧や事前の防災対策（国土強靱化）が必要不可欠となっています。JPA は 2022 年 3 月、国土交通省中国地方整備局との間で「災害時における中国地方整備局管内の災害応急対策業務の情報提供等支援に関する協定」を締結しました。中国地方における発災直後の応急復旧対策工事はもとより、その後の本復旧工事や災害リスクに備えた事前の防災・減災対策工事に対する圧入工法の貢献度はますます高まるものと考えています。

こうしたなか、最新の圧入工法を広く紹介し、受発注者双方の技術力向上、公共工事等における新技術の活用増、建設業の生産性向上等を目的として中国地方の受発注者を対象とした技術講習会を実施しました。テーマは『最新の建設 ICT 技術～災害復旧・防災・国土強靱化対策に有効な施工事例～』、中国地方 5 県の地域限定開催（オンライン方式）の講習会です。

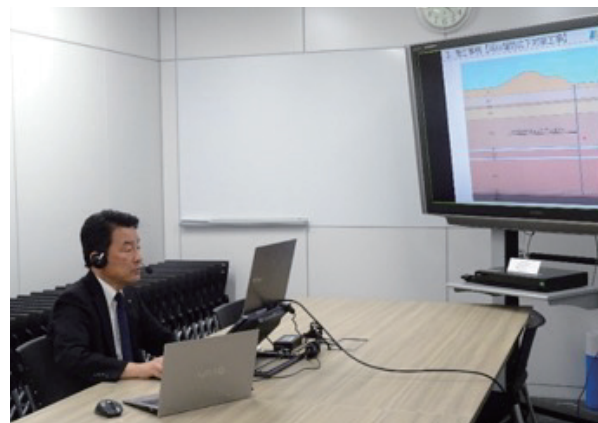
6 月 17 日の広島会場を皮切りに、岡山会場、山口会場、鳥根会場、鳥取会場にて下表のとおり実施し、多くの方にご参加いただきました。

開催日	会場	人数	後援
6 月 17 日	広島	56 名	国土交通省中国地方整備局、広島県、(一社) 広島県建設業協会、(一社) 広島県測量設計業協会、(一社) 建設コンサルタンツ協会中国支部
6 月 24 日	岡山	33 名	国土交通省中国地方整備局、岡山県、(一社) 岡山県建設業協会、(一社) 岡山県測量設計業協会、(一社) 建設コンサルタンツ協会 中国支部
7 月 1 日	山口	24 名	国土交通省中国地方整備局、山口県、(一社) 山口県建設業協会、(一社) 山口県測量設計業協会、(一社) 建設コンサルタンツ協会 中国支部
7 月 8 日	鳥根	19 名	国土交通省中国地方整備局、鳥根県、(一社) 鳥根県建設業協会、(一社) 鳥根県測量設計業協会、(一社) 建設コンサルタンツ協会 中国支部
7 月 15 日	鳥取	18 名	国土交通省中国地方整備局、鳥取県、(一社) 鳥取県建設業協会、(一社) 鳥取県測量設計業協会、(一社) 建設コンサルタンツ協会 中国支部

全国の建設技術者を対象

本年度も全国の建設技術者を対象とする「圧入工法技術講習会」を実施しました。圧入工法の基本的なメカニズムや様々な現場条件、地盤条件に対応可能な各種工法を紹介する「基本編」、国土強靱化に関連する圧入工法の採用事例や圧入工法に関連する最新の建設 ICT 技術の紹介をテーマとした「建設 ICT・災害対策・国土強靱化編」の 2 つのプログラムを実施し、多くの方にご参加いただきました。「建設 ICT・災害対策・国土強靱化編」では、災害対策や国土強靱化に関する最新の施工事例を「河川、ため池」、「防潮堤」、「道路」、「鉄道」といった現場条件別に紹介し、圧入工法の施工性、圧入工法により構築された土木構造物の優位性等を受講者に理解いただきました。

今年度の総受講者数は 8 月 26 日現在で 233 名（実施回数 10 回）、受講後のアンケートでは大半の方が「圧入工法を今後業務で活用できる」と回答しています。



オンラインにて開催

Member introduction

会員紹介



株式会社崎山組

(滋賀県近江八幡市)

■キャッチフレーズ

「自然と人間の調和」を経営理念とし、「確実な技術と向上心を持っていつも先を歩く」を社訓としています。

■創業または設立年月日

昭和41年2月創業、昭和62年10月21日設立

■最近のトピック

弊社では豊富なデータに基づく技術提案や設計業務、最適な計画を立案する提案力、バリエーション豊富な専用機を駆使した技術力を維持しています。圧入工法のスペシャリストとして、より専門的で難易度の高い施工や工法を展開します。技術面、安全面一切妥協せず施工します。また、次世代へ会社認知度を高めるためアニメーションによるコマーシャルを作成し求人募集を行っています。

■自社のPR

当社の自慢は技術力の高さです。どんなに難易度が高い現場でもお客様のニーズに応え、最先端で高度な施工技術を提供できます。メンテナンスにも力を入れており、機械トラブルを未然に防ぐ様務めています。そして何より、笑顔の絶えない素敵な会社です。社員同士、仲が良く若手社員ものびのびと成長出来ています。社員やご家族の素敵な笑顔これからもずっと守っていきたくと考えております。(執筆者:益田 幸義)



松永 弘子社長



会社全景



株式会社角藤

(長野県長野市)

■キャッチフレーズ

「街づくりを支える」「暮らしを支える」

■創業または設立年月日、代表者

昭和8年3月創業、取締役 土木事業部長 勝野 宜由

■最近のトピック

令和元年より、上信越自動車道において、ジャイロプレス工法による鋼管杭工に着手し、4カ年に渡る600本以上の圧入施工を完了いたしました。硬質岩盤層への対応、極寒冬季の昼夜施工、供用中高速道路内での制限作業という難工事でしたが、技研施工様をはじめ、ご協力いただいた関係各位様に改めて感謝を申し上げます。

■自社のPR

弊社は、長野県に本社を置き、硬質地盤や山間部での杭基礎工・土留工及び法面工事を得意としてきました。クラッシュパイラーの導入を契機に、圧入工法へ主力工事を転換。ジャイロパイラーの導入を契機として都市土木や港湾関連工事等の様々な地域・現場での施工実績が増加しております。今後も社会インフラ整備を通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。(執筆者:溝口 隆義)



溝口 隆義
土木営業部 企画開発室
専任課長



供用中高速道路におけるジャイロプレス2台施工

Member introduction

会員紹介

RINKO 株式会社リンコーコーポレーション

(新潟県新潟市)

■キャッチフレーズ

メーカーネットワーク体制とハイレベルな技術が質の高いサービスを提供します。

■創業または設立年月日、代表者

明治 38 年設立、代表取締役社長 本間 常徳

■最近のトピック

1991 年に現在の社名に変更しましたが、以前は「新潟臨港海陸運送」でした。当社は、港湾運送業が主力で自社保有機のメンテナンスから始まった会社です。整備工場は新潟市東区船江町にあり小型・大型自動車整備工場、建機整備工場及び車検場、塗装工場を完備した総合整備工場です。

■自社の PR

乗用車、大型車、フォークリフトやホイールローダ等の特車や建設機械全般（技研製作所、日本車輛、日立建機等）、コンテナ荷役で使用するガントリークレーンやストラドルキャリアなど幅広くメンテナンスを承っております。安全第一、法令順守をモットーに整備品質向上に必要な資格を積極的に取得し環境にも配慮していきます。機械購入やメンテナンスについてお気軽にご用命ください。

(執筆者：河村 聡)



皆で事務所前にて



工場構内の様子

新会員紹介

2022 年4月26日～8月 25 日入会、入会順・会員別

正会員

山陽建材株式会社

山口県光市

丸正建材工業株式会社

大分県大分市

株式会社伊予ブルドーザー建設

愛媛県伊予市

伊藤建設株式会社

新潟県佐渡市

有限会社峰真建設工業

北海道紋別市

特別会員

森永 教夫 氏

【会員数の現況】 2022 年 8 月 25 日現在

正会員 213 社、協賛会員 51 社、賛助会員 4 社 5 団体、特別会員 10 名

業界ニュース

2022年4月～2022年8月

記事提供：日刊建設通信新聞社

2省庁3機関と連携 / 許可・経審の申請電子化

国土交通省は、新たに整備する建設業許可・経営事項審査の電子申請システムと連携可能な他省庁・機関の保有情報を明らかにした。登記事項証明書と納税証明書、技術検定合格証明書、経営状況分析結果通知書はシステムの運用開始を予定する2023年1月から、監理技術者資格者証・講習修了証、建設業経理士登録証・講習修了証は23年度から情報連携を開始する。独立している各種システムをバックヤード連携することで、事務負担の軽減を図る。許可・経審電子申請システムの運用開始までの今後の想定スケジュールは、今秋までにシステム開発とマニュアル作成を進め、10月から行政庁での試行を実施する。11月からは建設業者やその代理人による申請の説明会を開催する。

5か年加速化対策の着実な実施要請 / 国交省

国土交通省は、2022年度の所管事業の円滑かつ着実な実施を促す事務次官通達(執行通達)を地方整備局や独立行政法人などの各発注機関に通達した。生産性向上、働き方改革への留意など公共事業の施行方針を示すとともに、建設産業の健全な発展や中小建設業者の受注機会の確保などに配慮するよう要請した。事業執行に当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の徹底や対策費用を上乗せするなどの柔軟な契約変更の徹底といった必要な措置の実施を明記。防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策については、中長期の目標の達成に向けて着実な実施を要請した。

受発注者間25%元下間14%「変動受け入れられず」

国土交通省は、建設分野の受発注者間、元下間での資材や原油の価格高騰の影響に関する調査結果をまとめた。受発注者間の15%、元下間の10%で物価変動に基づく契約変更条項(いわゆるスライド条項)が含まれていないという実態が明らかになった。さらに、受発注者間の25%、元下間の14%では「物価変動に基づいて

請負金額の変更を申し出たが受け入れてもらえなかった」と回答した。

地方デジタル化で基本方針案 / 3交付金統合し支援

政府は、デジタル技術を地域活性化に生かす「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた基本方針案をまとめた。インフラ分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)やまちづくりDX(3D都市モデル整備・活用)、インフラメンテナンスなどの防災DXなどによるデジタル実装によって、地域の社会課題を解決していく。また、地方のデジタル化を支援する3つの交付金を新たに「デジタル田園都市国家構想交付金」に統合することを打ち出した。基本方針は近く閣議決定する。今後は構想具体化への検討をさらに進め、地方創生の取り組みを合わせた「総合戦略」を2022年内に策定する。

日本公庫の融資活用など中小企業の資金調達支援

事業承継や中小M&Aなど中小企業の挑戦志向の機運の高まりを受け、経済産業省中小企業庁は、エクイティ・ファイナンス活用に関する基礎的な手引きを作成する。また、中小企業によるホールディングス化(グループ化)の支援として、日本政策金融公庫(日本公庫)による融資制度の活用、持株会社による資金調達に対する出資を検討する。

生コン情報を電子化 / クラウドで施工管理

国土交通省は、直轄土木工事の現場打ちコンクリート工における施工管理、品質管理、検査に、官民研究開発投資拡大プログラムで開発したクラウド共有型コンクリート品質管理システムを活用する取り組みを2022年度に試行する。システムを活用することで、紙媒体だけでやり取りしている生コン情報の電子化と見える化が可能となる。これにより、生コンの製造、運搬、受け入れ、施工、安全管理の各記録がすべてクラウドに保存され、その記録を工場、施工者、発注者の三者がリアルタイムに確認できるようになり、建設現場の生産性向上などが期待できる。

栄えある第7回表彰をご紹介

本年度の第7回JPA表彰の応募は52件、うち33件への表彰が決定し、6月の会員総会において受賞案件を紹介しました。昨年に引き続き、本年度も郵送によって表彰盾を贈呈しました。今号ではオペレーター部門賞の受賞者をご紹介します。(1社1名)

オペレーター部門賞は永年にわたって顕著な業績を上げた技術者を表彰する賞で、応募資格は在籍10年以上、現在まで継続10年以上無事故の杭圧入引抜機オペレーターかつ圧入施工技士一級保有者です。この賞の受賞者は、各社を代表する杭圧入引抜機のオペレーターです。

株式会社技研施工 森下 武司 様

所属会社からの推薦文

メーカー勤務を経て、主にオペレーターとして現場に従事。硬質地盤クリア工法、ジャイロプレス工法、鋼矢板リング工法等、高難易度の現場をその高い技術力で24年間無事故で成功させました。海外施工の実績もあり近年では職長として現場に従事しながら後輩オペレーターの育成をしています。2015年6月(株)不動テトラ東京支店 功績賞(渡波漁港沢田地区護岸(その3)工事)、2017年6月(株)新井組 労働災害防止活動感謝状(16号八王子中野地区道路改良工事)を受賞。



編集・発行 / (一社) 全国圧入協会 事務局

TEL 03-5781-9155 E-mail jpa@atsunyu.or.jp